

「都筑区民文化センター」ネーミングライツ契約を締結しました！ ～愛称は「ボッシュ ホール（英語名：Bosch Hall）」～

区制30周年にあたる令和6年度中の開館に向けて整備を進めている「都筑区民文化センター」について、令和5年6月29日にボッシュ株式会社とネーミングライツ契約を締結しました。

愛称は「ボッシュ ホール（英語名：Bosch Hall）」で、横浜市の区民文化センターへのネーミングライツ導入は初の試みです。スポンサー料は、都筑区民文化センターの施設管理費や都筑区民文化センターを中心とした文化振興・賑わい創出等に活用していきます。

1 契約内容の概要

◆契約の相手方：

- （名称）ボッシュ株式会社
- （本社）東京都渋谷区渋谷3-6-7
- （代表者）代表取締役社長 クラウス・メーダー
- （主要事業）自動車機器の開発、製造、販売、サービス

◆愛称：ボッシュ ホール（英語名：Bosch Hall）

◆契約金額：年間1,100万円（税込）

◆契約期間：10年3か月（令和7年1月～令和17年3月）

◆地域貢献等への提案：

①都筑区民文化センターを含む施設の発信力の強化

全天候型広場・ボッシュ本社ビルとの連携による各種イベントの企画・実施・発信、認知の向上

②都筑区民文化センター・ボッシュ株式会社関連施設の有機的な連携による賑わいづくり

市民活動・地域イベント開催時の会場として、全天候型広場・ボッシュ本社ビル1階の一部を開放

③文化振興への貢献

文化イベント・プログラムの企画・実施



左：山中竹春横浜市長 右：クラウス・メーダー社長

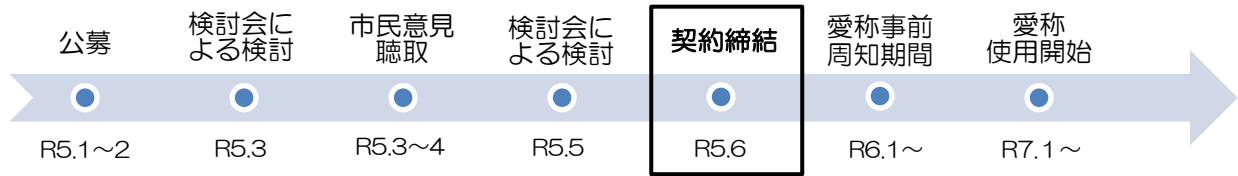
※パネルの内容はイメージのため、実際とは異なる場合があります。

クラウス・メーダー ボッシュ株式会社代表取締役社長コメント：

ボッシュは、1911年に横浜で日本での事業を開始し、1990年に都筑区牛久保に既存の開発拠点を設立しました。ゆかりのあるこの地で、新たに本社兼研究開発施設のみならず、都筑区民文化センターの建設を担っていることを、大変光栄に思います。このたび同センターの愛称が『ボッシュ ホール』に決定したことを受け、都筑区民のみなさまにはさらにボッシュという企業に愛着を持っていただけることを期待しています。今後も新社屋およびボッシュ ホール一帯において、相乗的な賑わい創出に貢献してまいります。

2 契約締結までの経緯

「横浜市ネーミングライツ導入に関するガイドライン」に基づき、市民の皆様からいただいたご意見などを踏まえ、ネーミングライツ導入検討会で検討を行い、契約締結に至りました。



●都筑区民文化センターの概要

(1) 施設の仕様

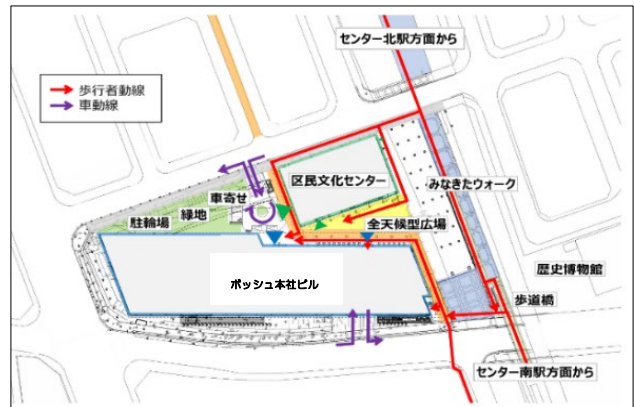
- ・地上4階地下1階（高さ27.8m）、延床面積 約3,943㎡
- ・鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）
- ・ホール（約300席）、リハーサル室、ギャラリー等

(2) 最寄り駅

横浜市営地下鉄ブルーライン
「センター北駅」

※本整備事業は、平成30年に区民文化センター整備の条件付で土地活用の事業提案型公募を実施し、決定したボッシュ株式会社を代表企業とするグループによって整備が進められています。

本整備事業の詳細はこちら→



施設配置とアクセス図

●イメージパース



↑センター北駅側から見た施設完成イメージ
(手前が都筑区民文化センター、奥の建物がボッシュ本社ビル)



↑隣接するボッシュ本社ビルとの間に整備される
全天候型広場完成イメージ

※本資料に掲載している情報は、今後の設計などで実際とは異なる場合があります。
※本資料のイメージパースの著作権は、ボッシュ株式会社に帰属します。

お問合せ先

都筑区地域振興課長 倉田 真希 Tel 045-948-2230